



2024年度 学修時間・学修行動 実態調査の結果

分析対象者：2024年度1～6学年の学生 781名

回答状況：全学年合計 655/781名（83.9%）

1学年 114/130名（87.7%）、2学年 104/136名（76.5%）

3学年 107/129名（82.9%）、4学年 98/127名（77.2%）

5学年 97/114名（85.1%）、6学年 135/145名（93.1%）

目次

0. 調査概要・・・・・・・・・・	p.1	15. クラブ活動・・・・・・・・・・	p.8
1. 居住形態・・・・・・・・・・	p.2	16. ボランティア経験・・・・・・・・	p.8
2. 通学時間・・・・・・・・・・	p.2	17. アルバイト経験・・・・・・・・	p.9
3. 授業の出席状況・・・・・・・・	p.2	18. アルバイトの目的・・・・・・・・	p.9-10
4. 授業の出席理由・・・・・・・・	p.2	19. 一週間の過ごし方・・・・・・・・	p.11-12
5. 授業の欠席理由・・・・・・・・	p.3	20. 睡眠時間・・・・・・・・・・	p.13
6. 予習時間・・・・・・・・・・	p.4	21. 運動習慣・・・・・・・・・・	p.13
7. 復習時間・・・・・・・・・・	p.4	22. 大学満足度・・・・・・・・・・	p.13-14
8. 予習・復習の場所・・・・・・・・	p.4	23. 授業の有用性・・・・・・・・・・	p.15
9. 調べ物の情報源・・・・・・・・	p.5	24. DP達成度自己評価・・・・・・	p.15-17
10. 試験勉強時間・・・・・・・・	p.6	25. 将来の目標・・・・・・・・・・	p.17
11. 勉学の困難・・・・・・・・・・	p.6	26. 専門領域の決定・・・・・・・・	p.18
12. 勉学困難の理由・・・・・・・・	p.6-7	27. 希望する専門領域・・・・・・・・	p.18
13. 勉学困難の克服・・・・・・・・	p.8	28. 専門領域の選択基準・・・・・・	p.18
14. 勉学困難の克服方法・・・・・・	p.8	29. 希望する勤務地・・・・・・・・	p.18

作成日：2025年 6月 30日

担 当：教育センターIR部門

2024年度調査概要

各学年の調査対象者と調査実施時期

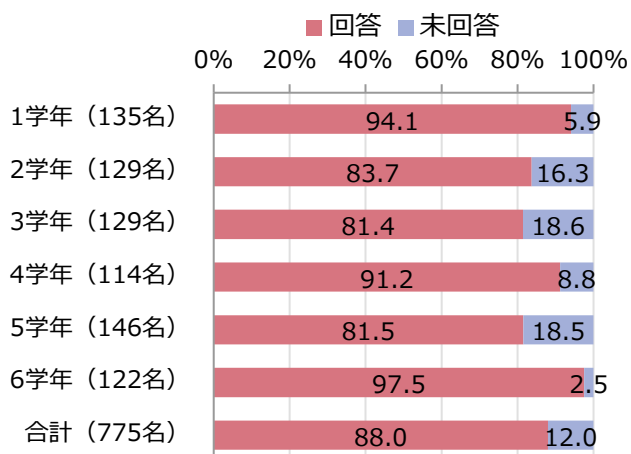
学年	対象 学生数	男女比 (%)		調査実施時期
		男性	女性	
1学年	130	53.8	46.2	2025年1月～2025年3月
2学年	136	52.2	47.8	2025年1月～2025年3月
3学年	129	63.6	36.4	2024年12月～2025年2月
4学年	127	58.3	41.7	2024年12月～2025年2月
5学年	114	56.1	43.9	2024年11月～2024年12月
6学年	145	57.2	42.8	2024年11月～2024年12月
全学年	781	56.9	43.1	2024年11月～2025年3月

2020年度より全学年KMULASでのweb調査を実施している。

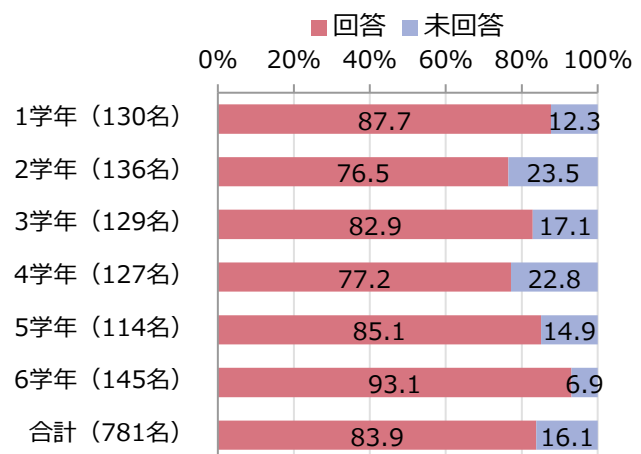
5、6学年については教務日程の都合上、他学年より調査実施時期が早くなっている。

各学年の調査回答状況

◆2023年度（参考）



◆2024年度（2024年11月～実施）



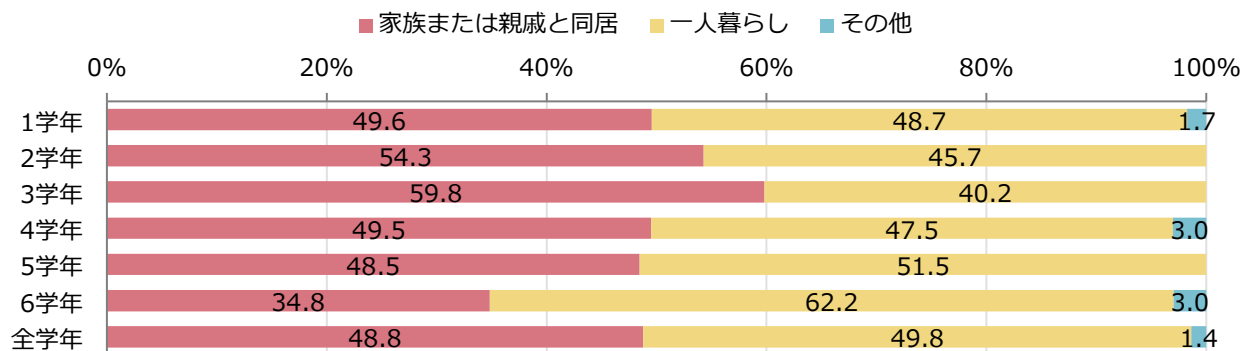
2023年度に比べて回答率がやや低下しており、特に1,2,4学年で回答率が低下した。

調査結果に偏りなく意見が反映されるよう、今後もより多くの学生から回答が得られるように調査を実施したい。

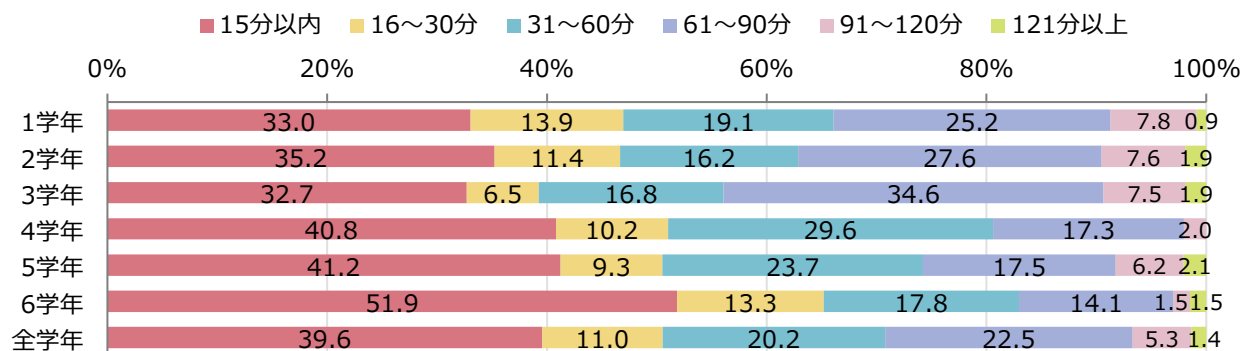
改めて、本調査にご協力くださり貴重な回答と意見を寄せてくださった学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

居住形態、通学時間、出席状況、出席理由

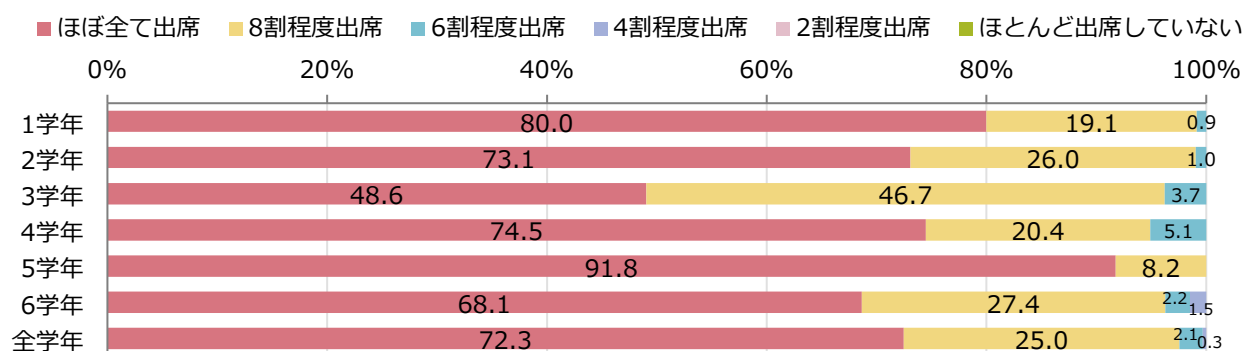
1.「現在のあなたのお住まいについて、あてはまるもの1つをお選びください。」



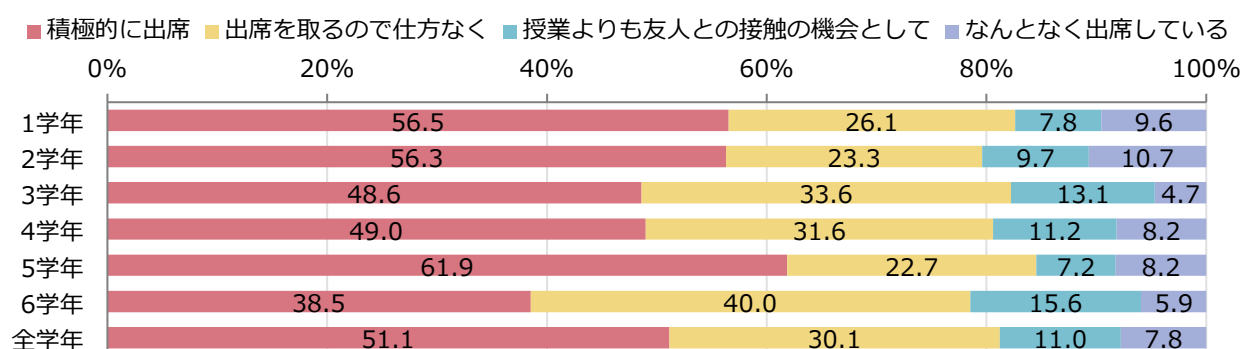
2.「大学への通学時間（片道）について、あてはまるもの1つをお選びください。」



3.「授業への出席状況（遠隔含む）について、以下の選択肢からご回答ください。」



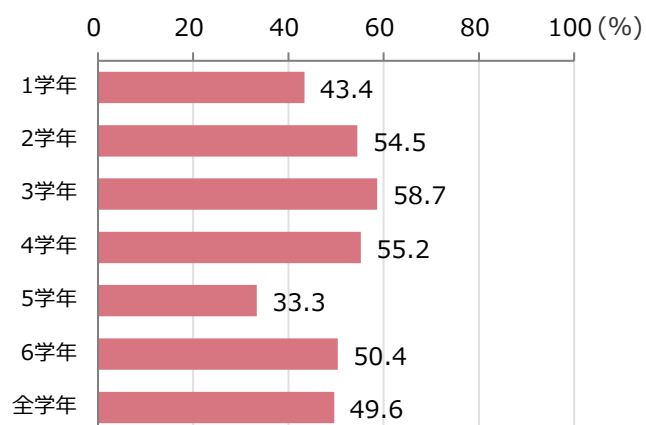
4.「授業出席の理由について、以下の選択肢からご回答ください。」



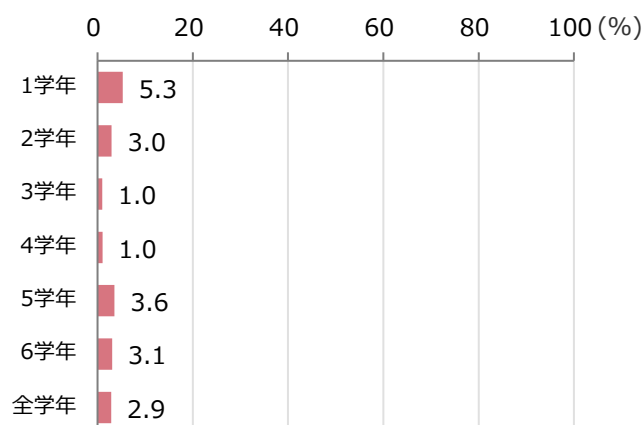
授業の欠席理由

5.「病気などのやむを得ない理由ではなく授業を休む場合の理由は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】」

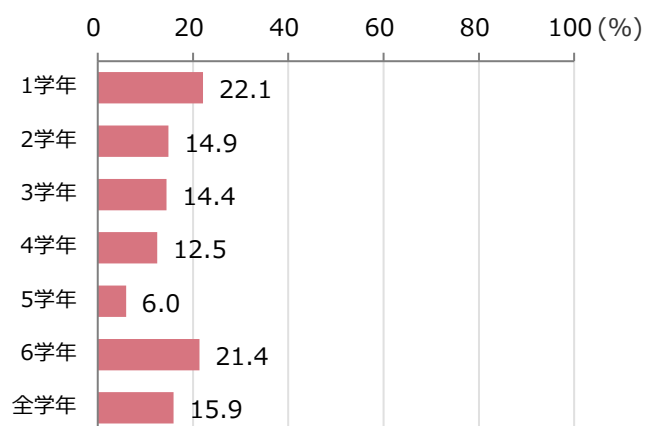
朝寝坊



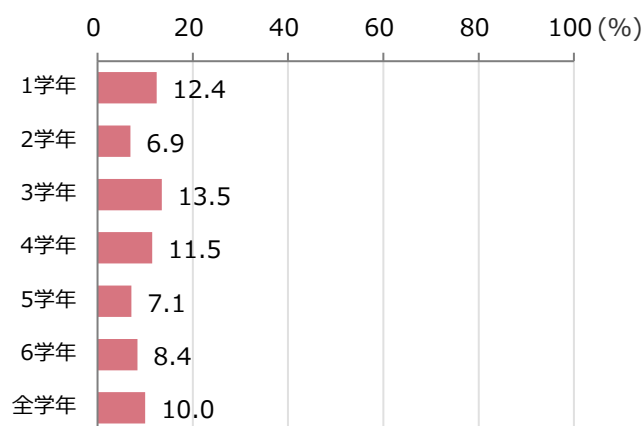
他科目のレポート作成



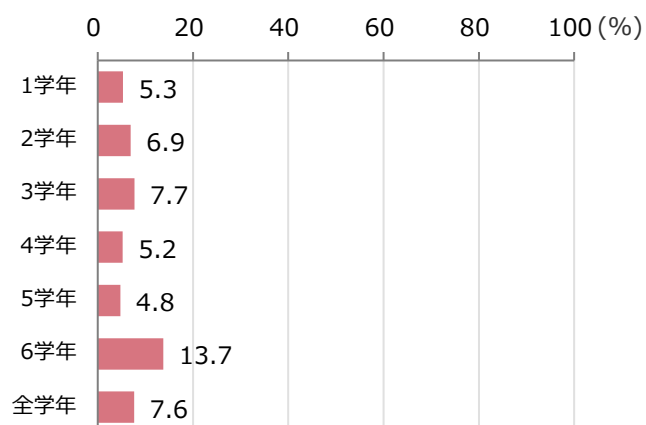
他科目の試験勉強



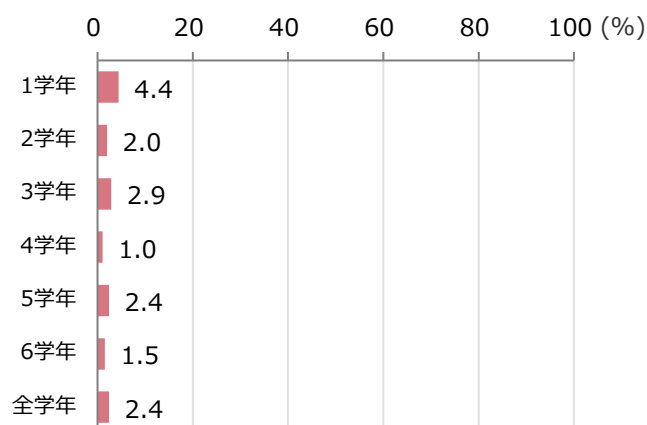
出席しても遅刻すると欠席になるから



授業が面白くないから



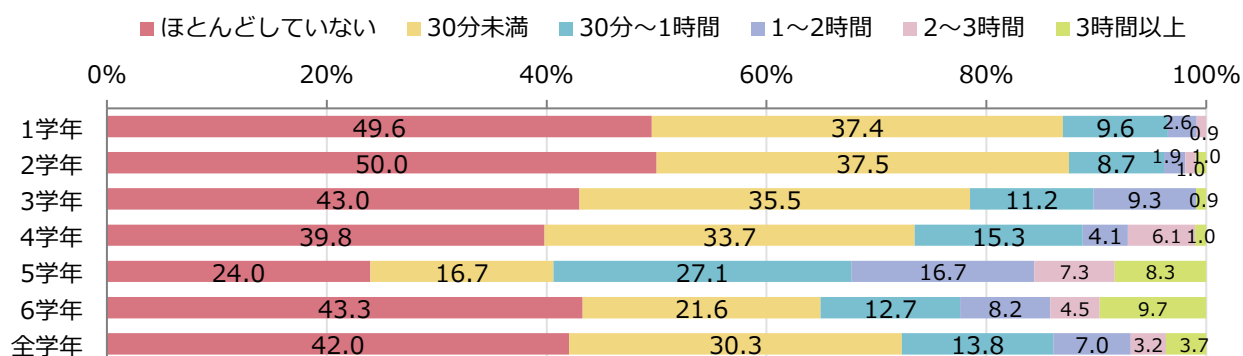
その他



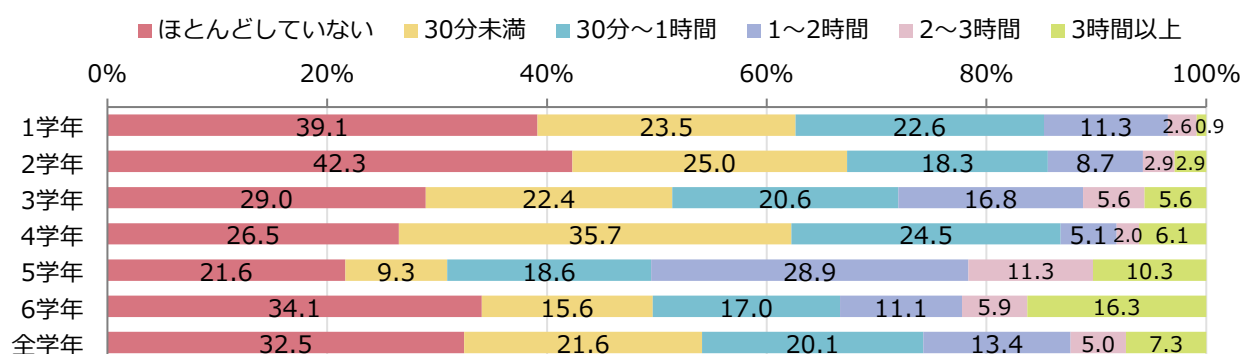
※なお、「病気などのやむを得ない理由以外で休むことはない」と回答したのは37.0%だった。

予習時間、復習時間、予習・復習の場所

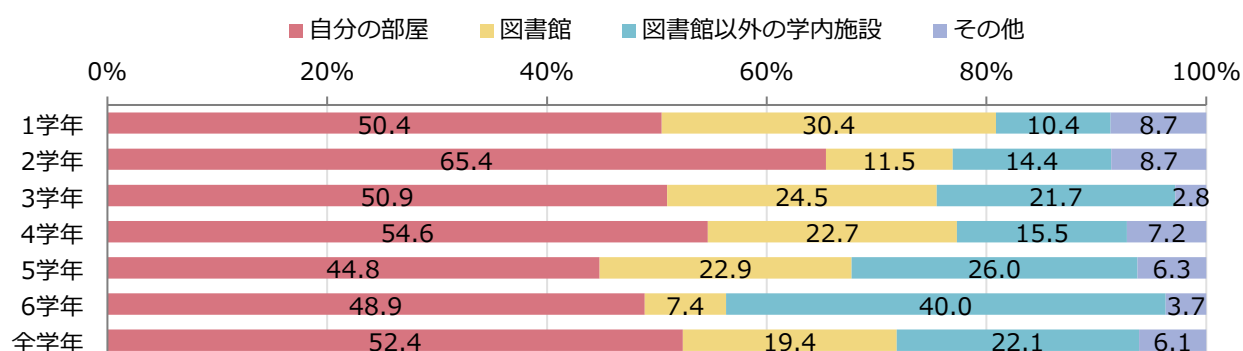
6.「1日の予習時間について、以下の選択肢からご回答ください。」



7.「1日の復習時間について、以下の選択肢からご回答ください。」



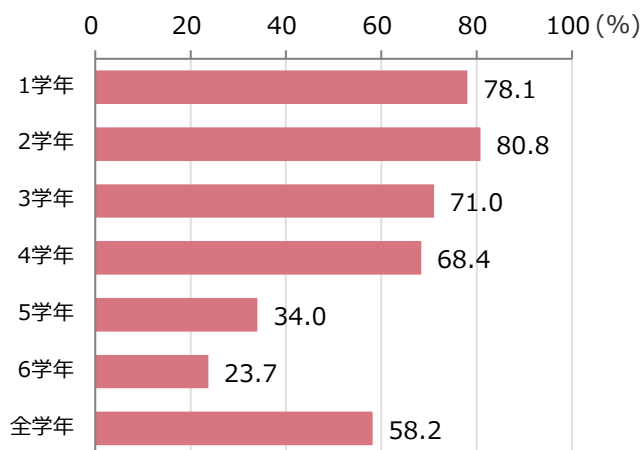
8.「予習・復習は主としてどこで行っていますか。」



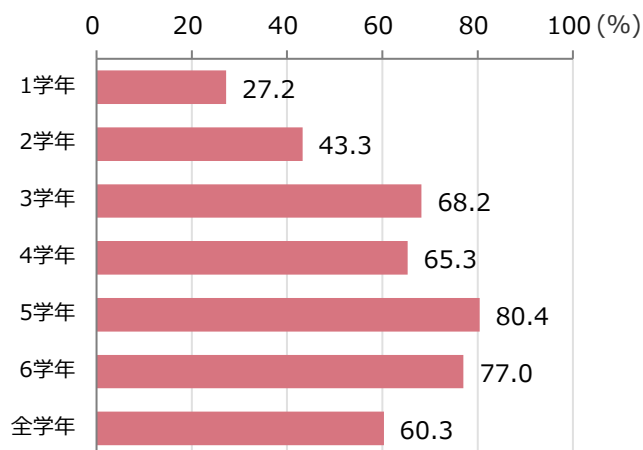
調べ物の情報源

9.「レポートや課題で、調べ物をする時の情報源は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】」

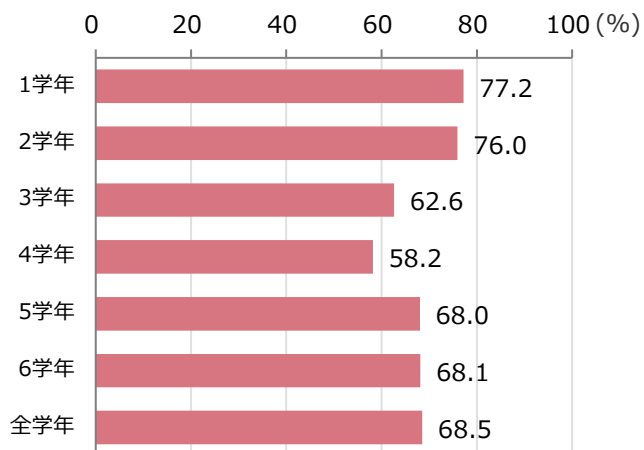
KMULAS上の資料・教材



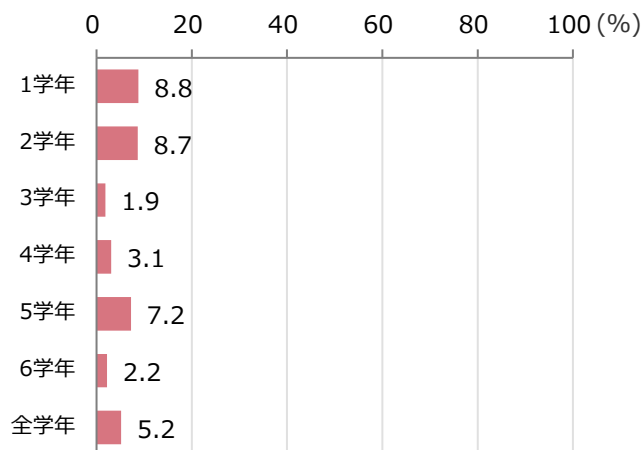
教科書、参考書（本、雑誌、新聞等）



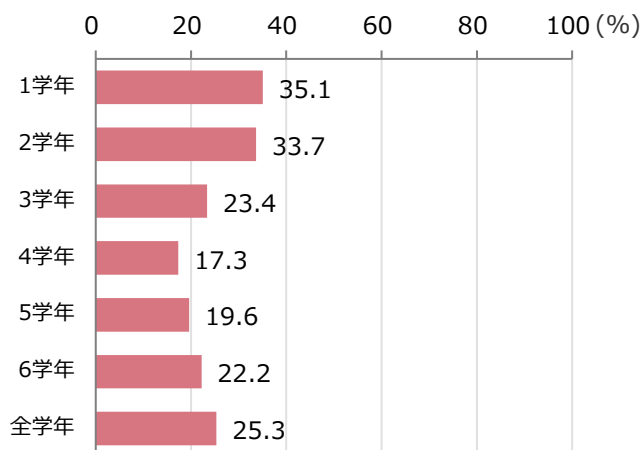
インターネット



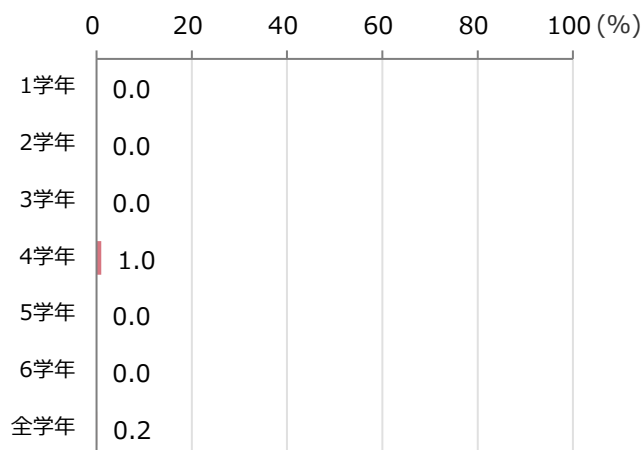
教員へ質問する



友人・先輩に聞く

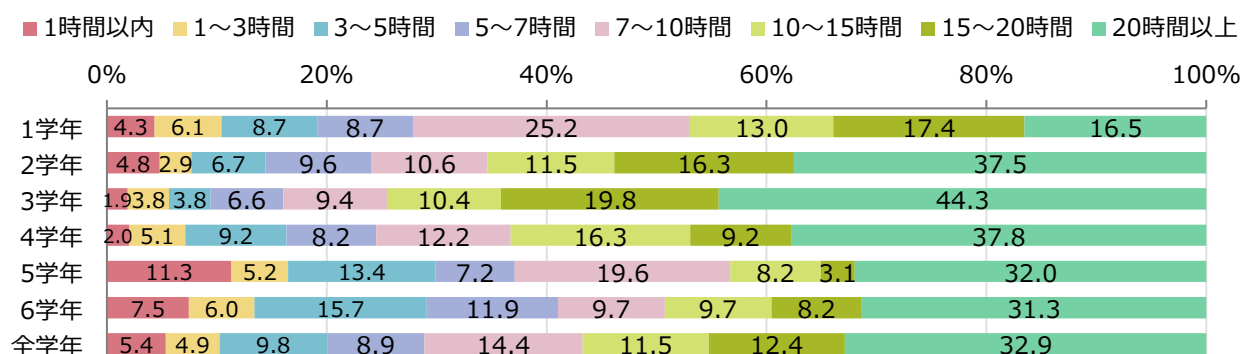


その他

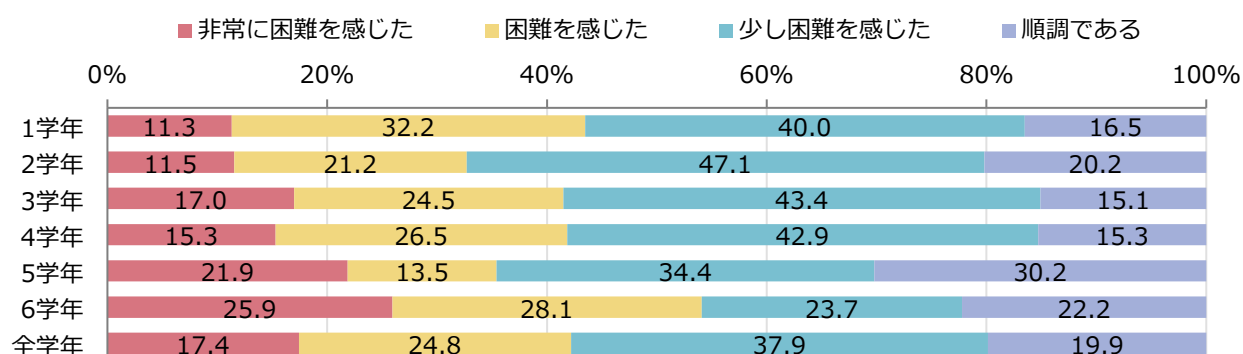


試験勉強時間、勉学の困難、勉学困難の理由

10. 「試験勉強時間は1科目あたり平均してどれくらいですか。」

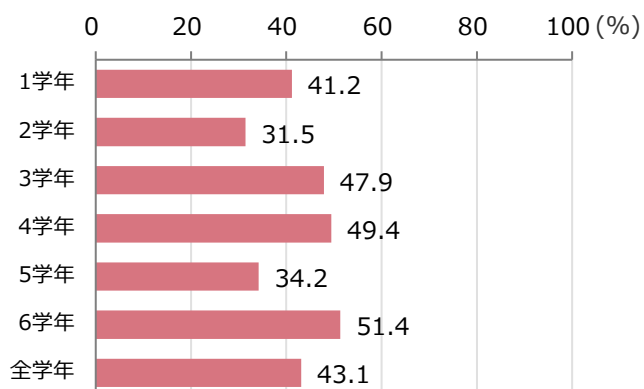


11. 「大学入学以降、勉学に関してどの程度困難を感じましたか。」

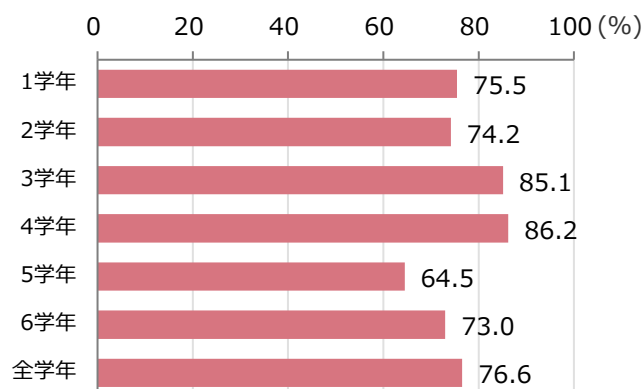


12. 「少しでも困難を感じた人は、その理由をどう考えていますか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】」

学修する内容が難しい



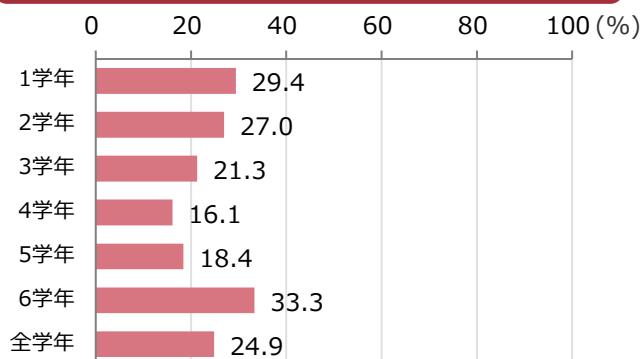
学修量が多い



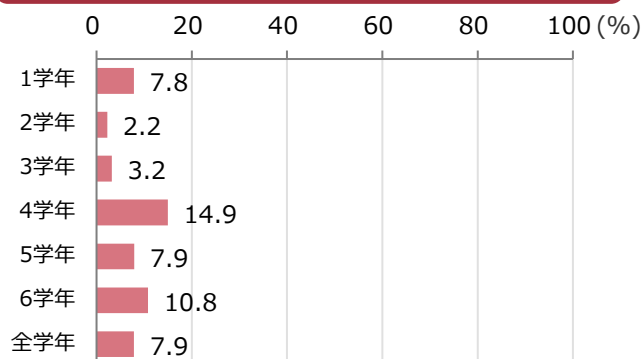
勉学困難の理由

12. 「少しでも困難を感じた人は、その理由をどう考えていますか。【複数選択可】」

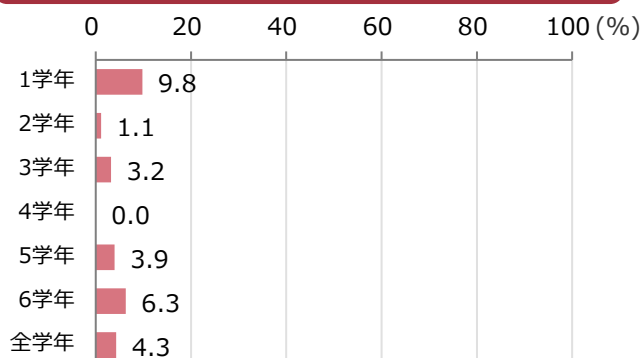
自主的な勉強スタイルへの移行が困難



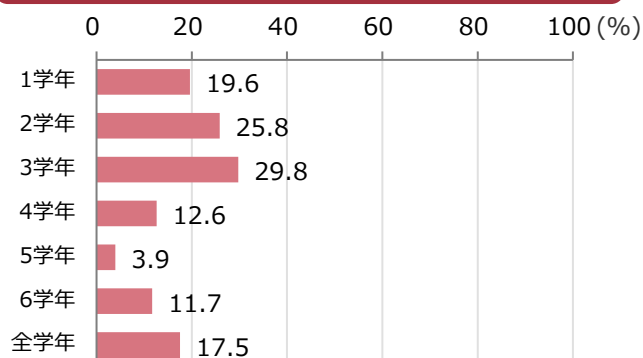
教員からのサポートが不十分



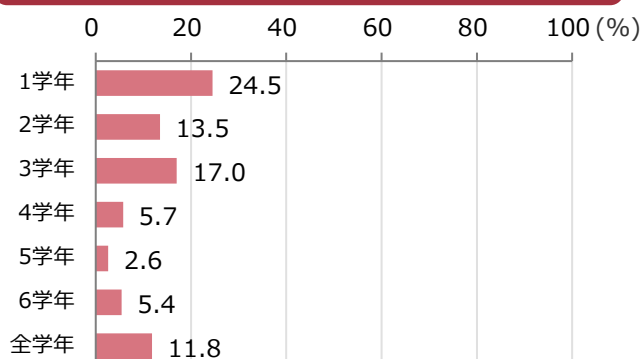
勉強しない友人に流される



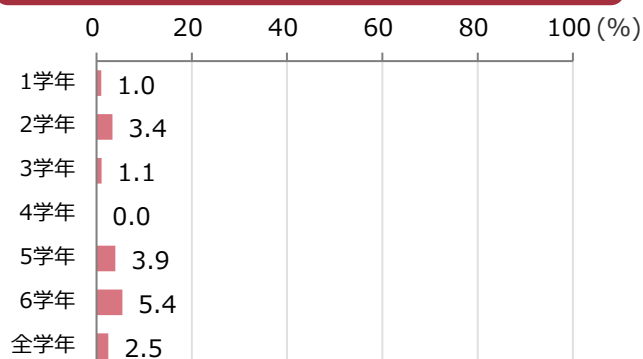
クラブ・サークル活動が忙しい



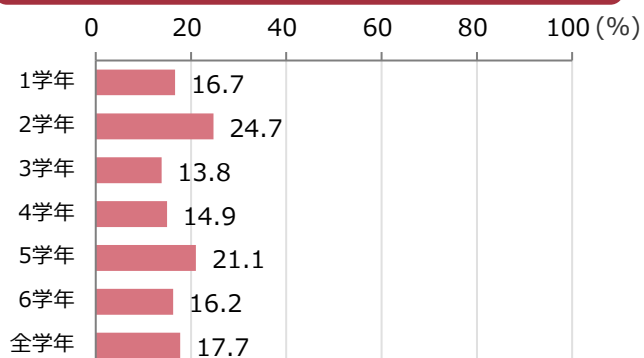
アルバイトが忙しい



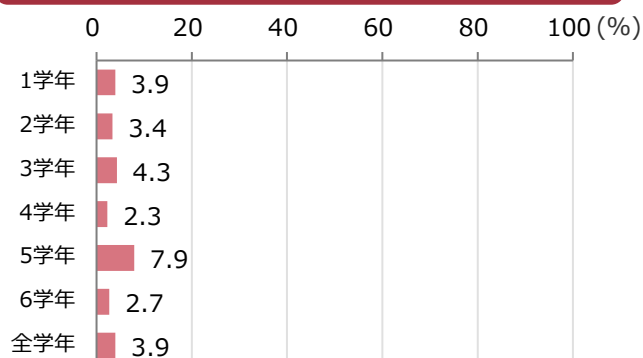
人間関係が構築できず勉強に集中できない



生活リズムの乱れ

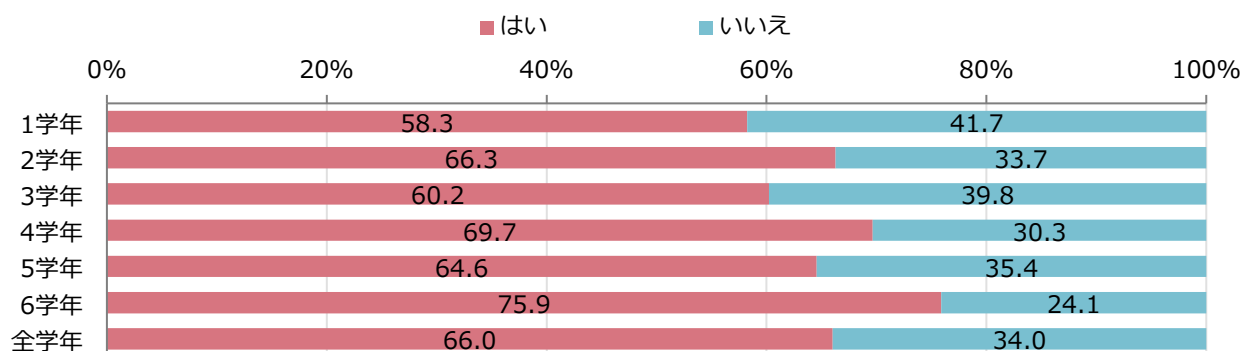


その他

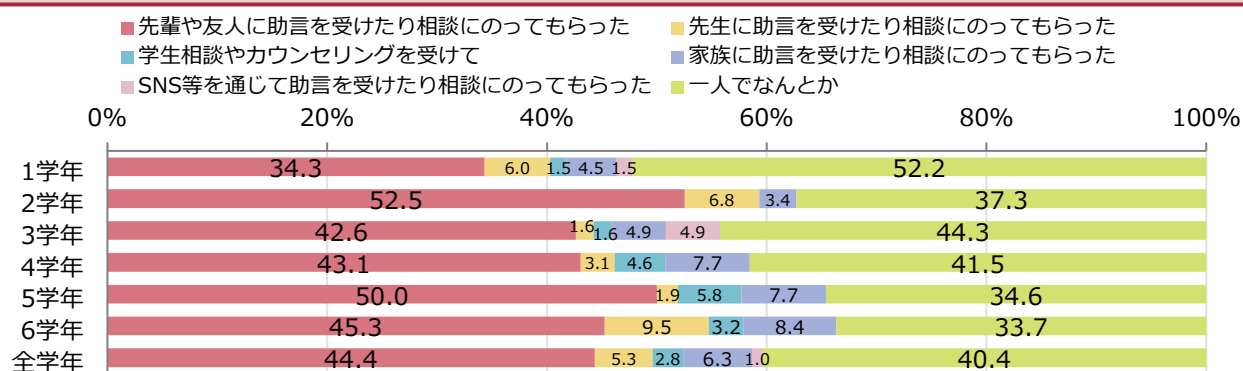


困難克服と方法、クラブ活動、ボランティア

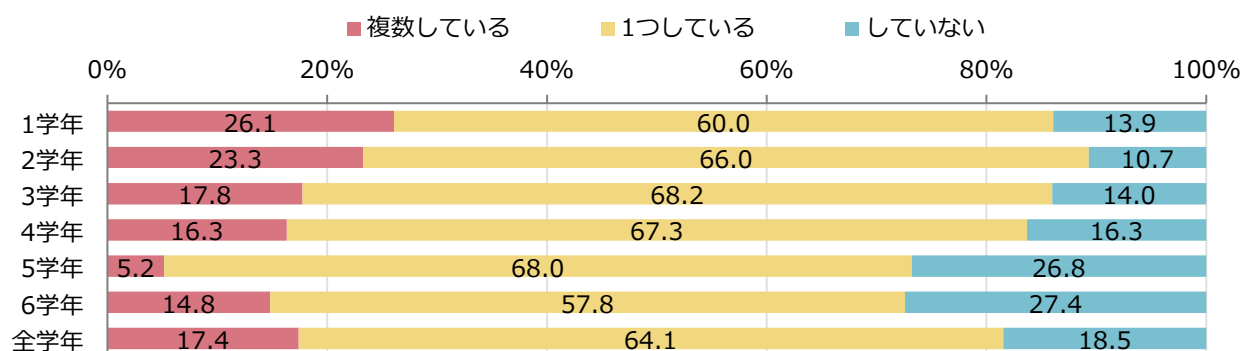
13. 「少しでも困難を感じた人は、その困難を克服できましたか。」



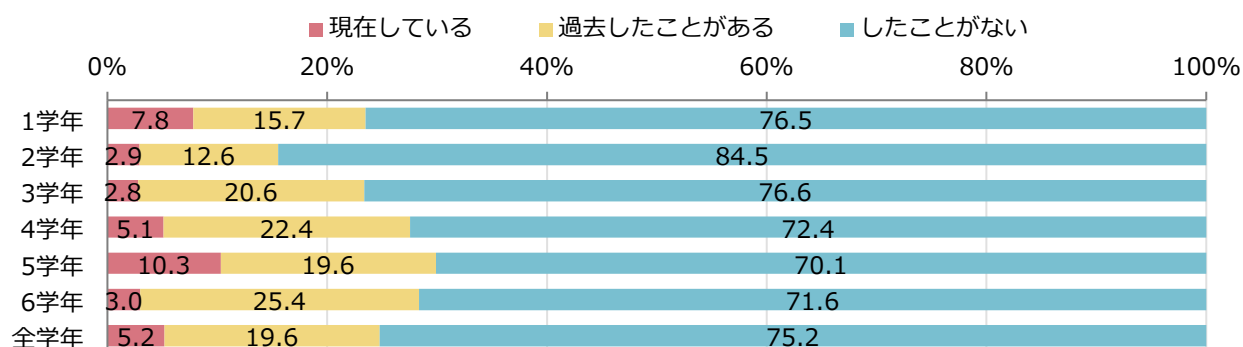
14. 「克服できた人は、どのようにして克服できましたか。」 (前問で「はい」と回答した人のみ)



15. 「あなたは現在クラブ・サークル活動をしていますか。」

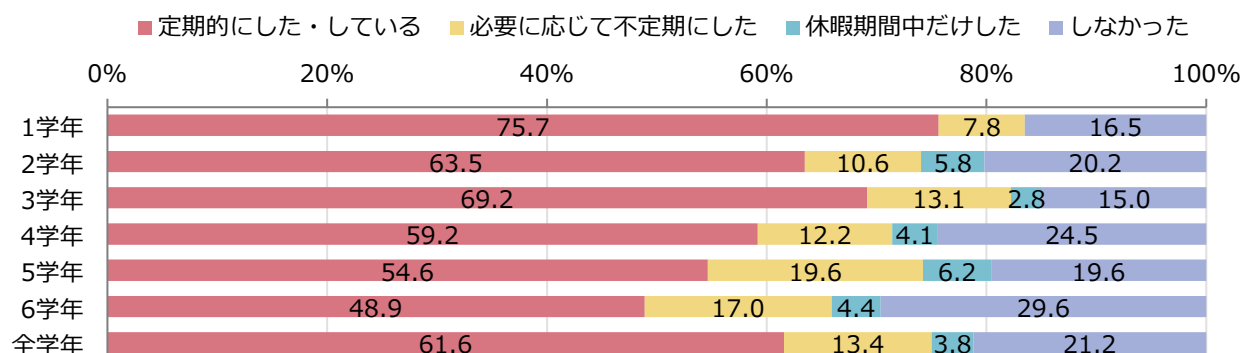


16. 「あなたは大学に入学してからボランティア活動をしたことがありますか。」



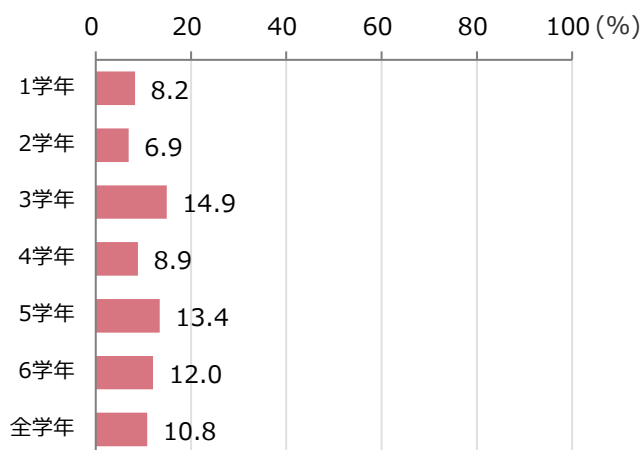
アルバイト経験、アルバイトの目的

17.「あなたはこの1年間で（1回生は大学入学以降）アルバイトをしたことがありますか。」

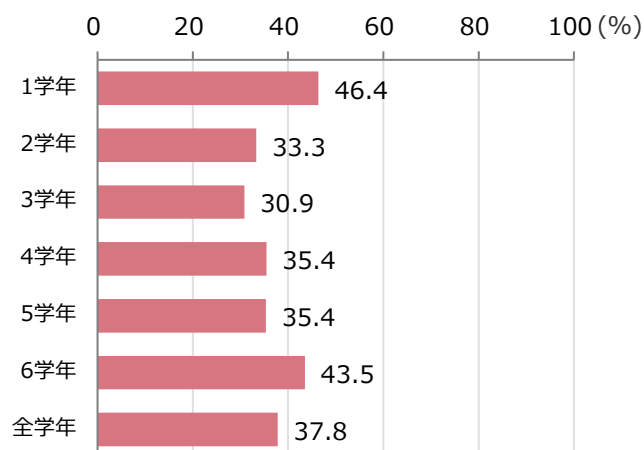


18.「アルバイト経験のある人は、目的は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】」

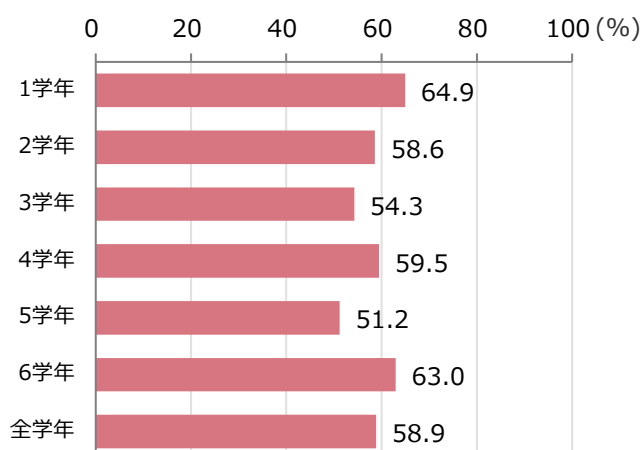
学費（留学含む）のため



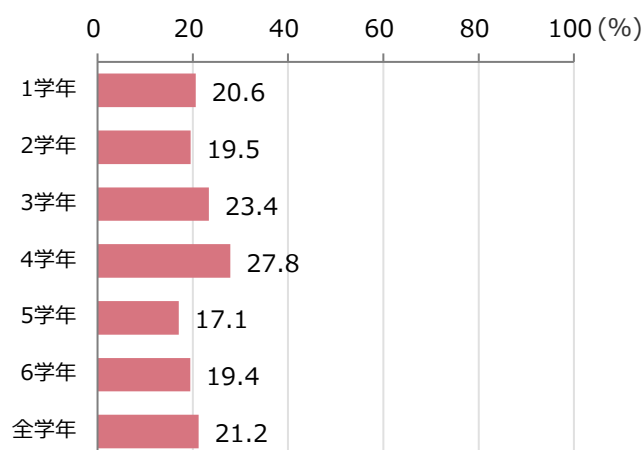
生活費のため



趣味のため



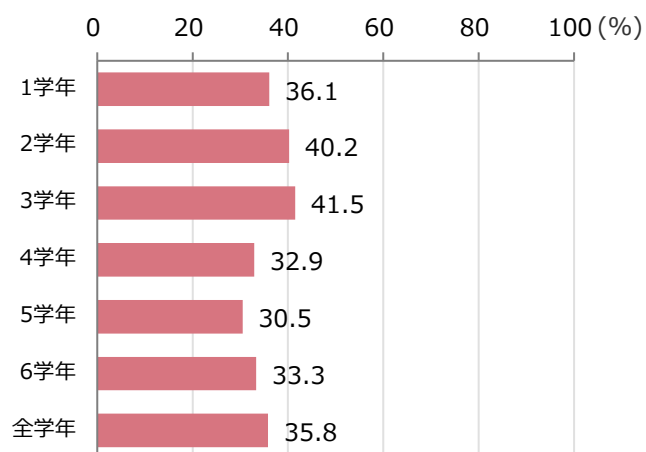
クラブ活動のため



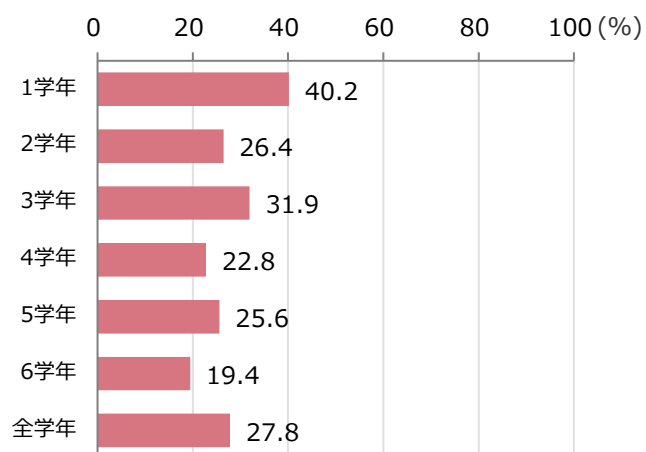
アルバイトの目的

18.「アルバイト経験のある人は、目的は何ですか。以下の選択肢からご回答ください。【複数選択可】」

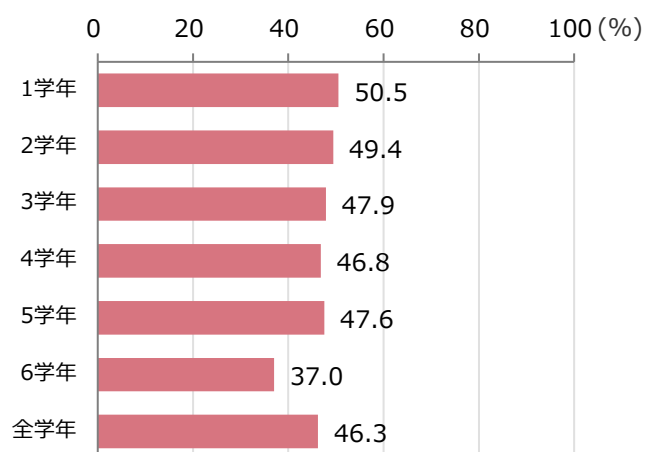
旅行・レジャーのため



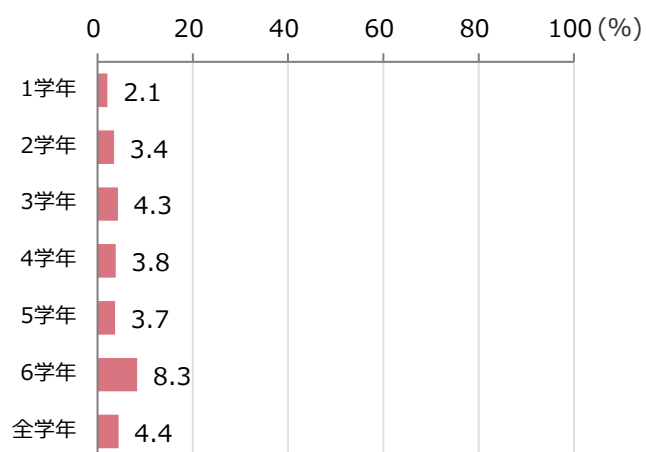
貯蓄のため



社会勉強のため



その他

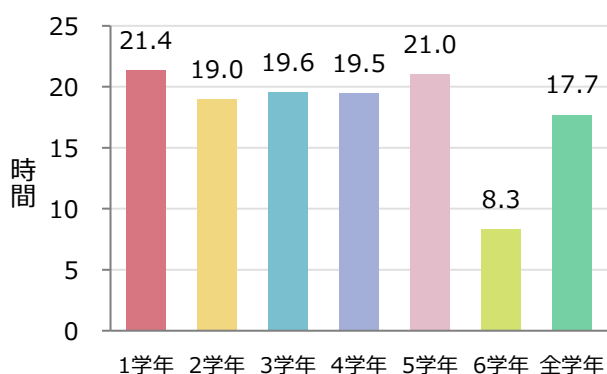


一週間の過ごし方

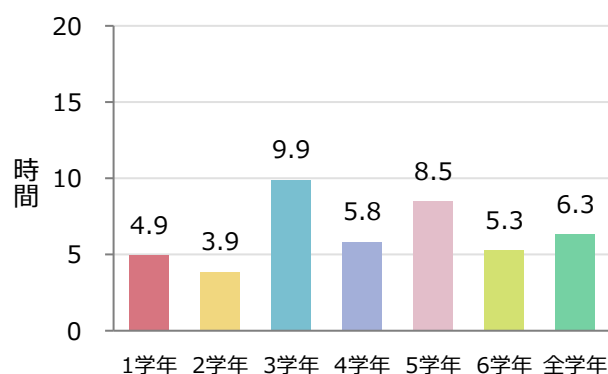
19.「平均的な一週間の生活を振り返って、次の1)～10)の活動にどれくらいの時間を費やしていますか。【一週間の合計時間】を以下の選択肢からお答えください。」

「全然ない」＝0時間、「3時間未満」＝1.5時間、「3～5時間」＝4時間、「5～10時間」＝7.5時間、「10～20時間」＝15時間、「20～30時間」＝25時間、「30時間以上」＝30時間として平均値を算出

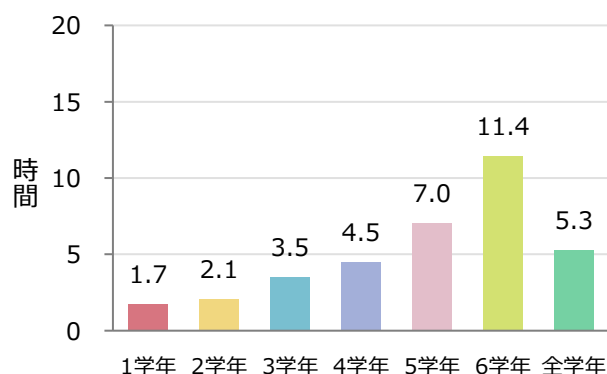
1) 大学で授業や実習に参加する（遠隔を含む）



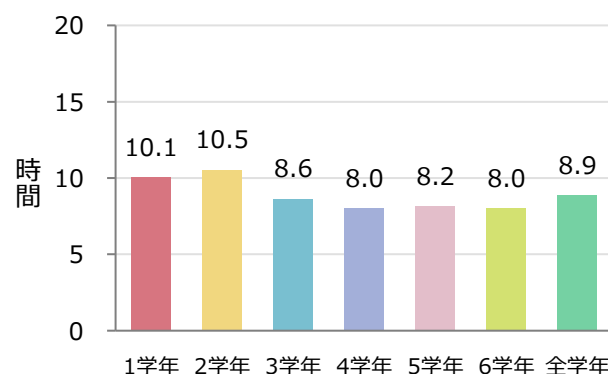
2) 授業に関する勉強（予習・復習、課題など）をする



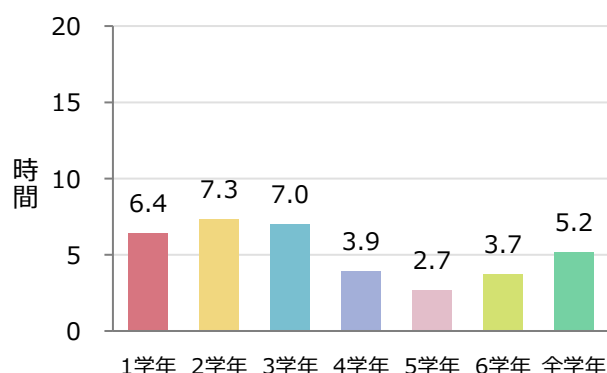
3) 授業以外の勉強を自主的にする



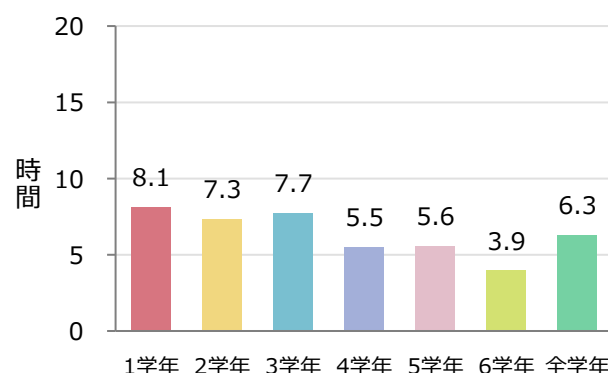
4) 友達と交際する



5) クラブ・サークル活動をする



6) アルバイトをする

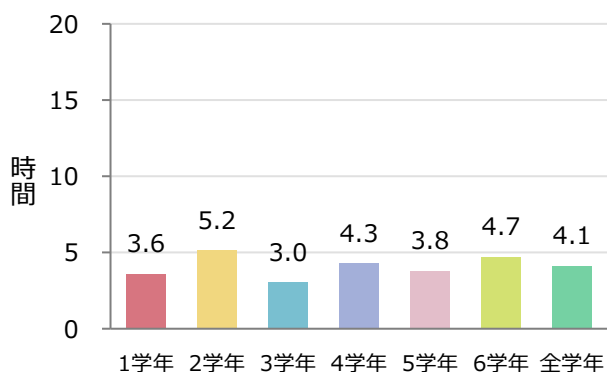


一週間の過ごし方

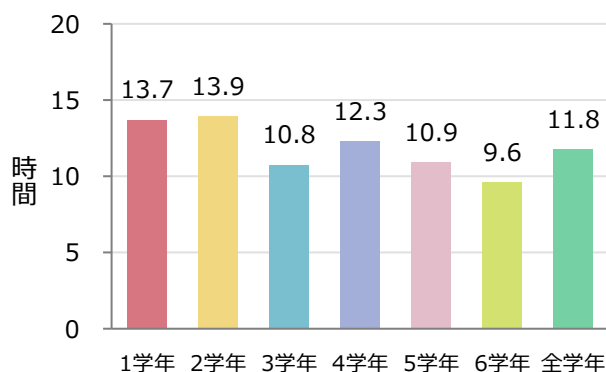
19. 「平均的な一週間の生活を振り返って、次の1)～10)の活動にどれくらいの時間を費やしていますか。【一週間の合計時間】を以下の選択肢からお答えください。」

「全然ない」＝0時間、「3時間未満」＝1.5時間、「3～5時間」＝4時間、「5～10時間」＝7.5時間、「10～20時間」＝15時間、「20～30時間」＝25時間、「30時間以上」＝30時間として平均値を算出

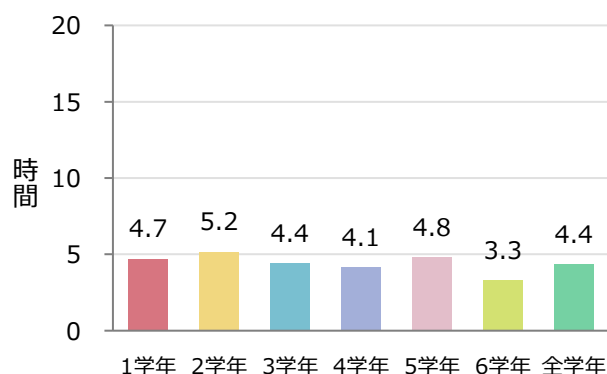
7) テレビやDVDなどをみる



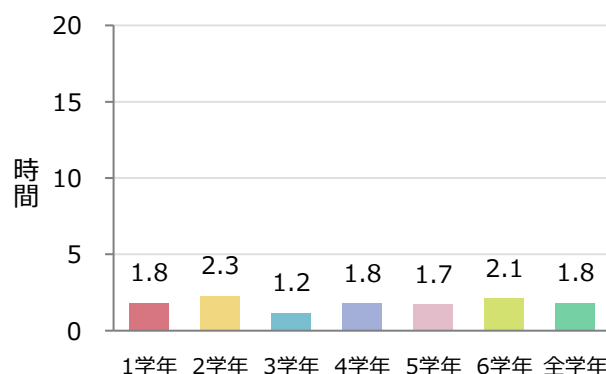
8) PCやスマートフォンでインターネットをする（SNSを含む）



9) ゲームをする（PC・スマートフォンを含む）

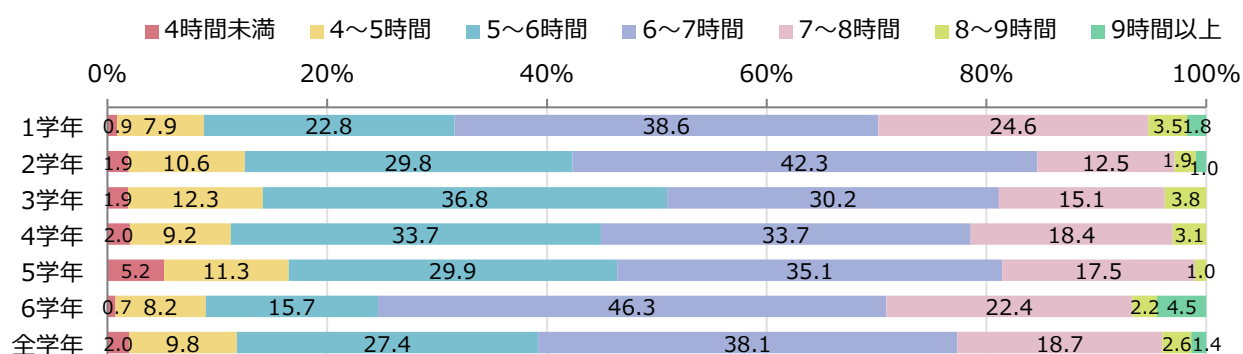


10) 授業に関係のない読書をする

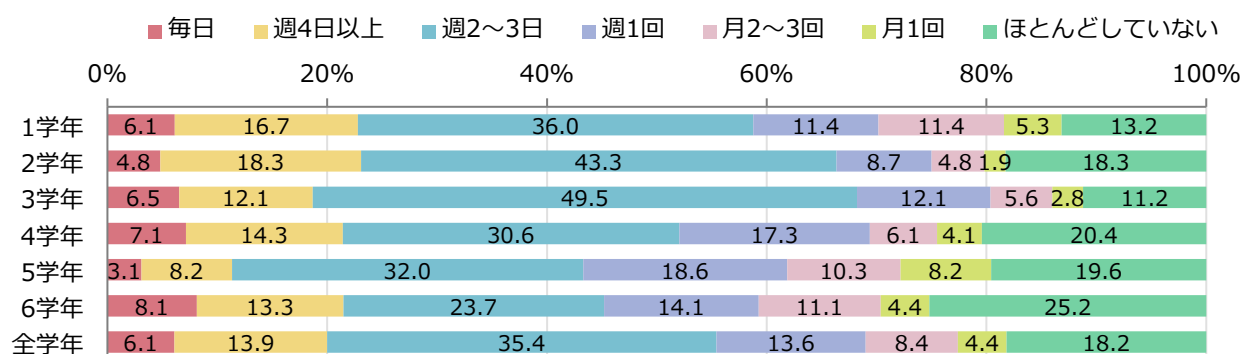


睡眠時間、運動習慣、大学満足度

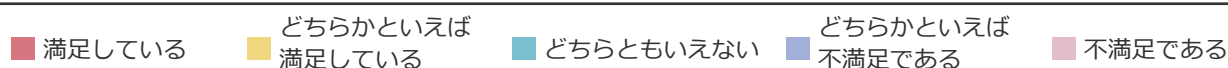
20. 「平日の平均的な睡眠時間をお答えください。」



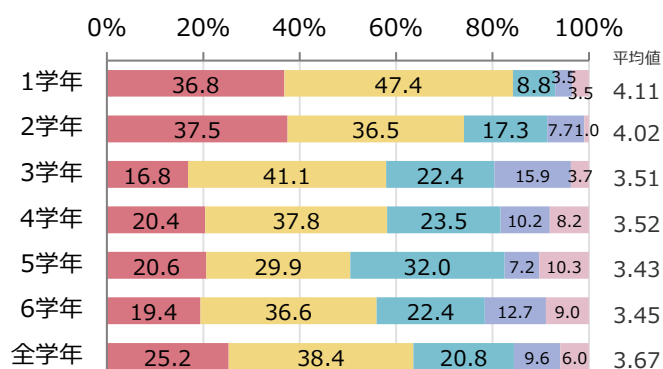
21. 「1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。」



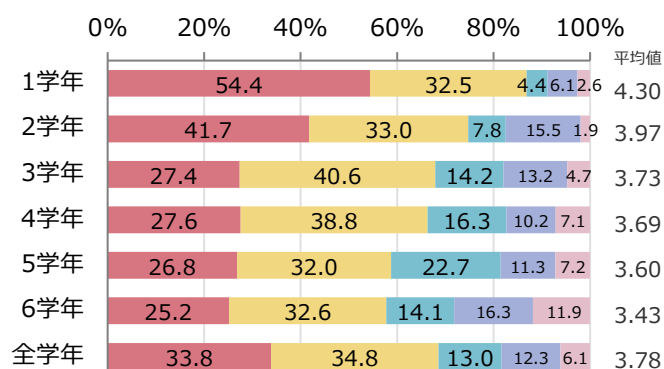
22. 「大学生活・大学教育にどのくらい満足していますか。各項目に対する満足度をご回答ください。」



1) 大学教育全体



2) 施設・設備



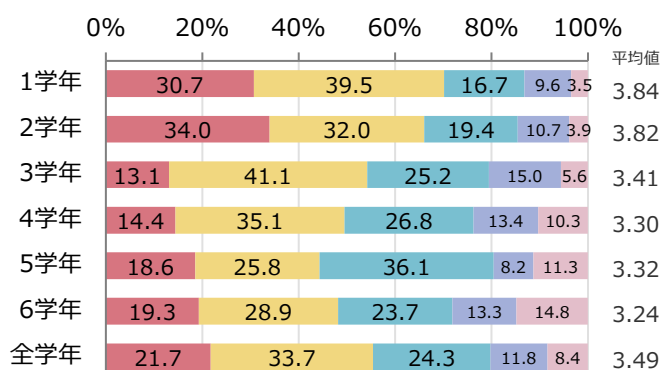
※グラフ右の「平均値」は、満足している=5 ～ 不満足である=1と得点換算をした時の満足度の平均値を示す。中点は3.

大学満足度

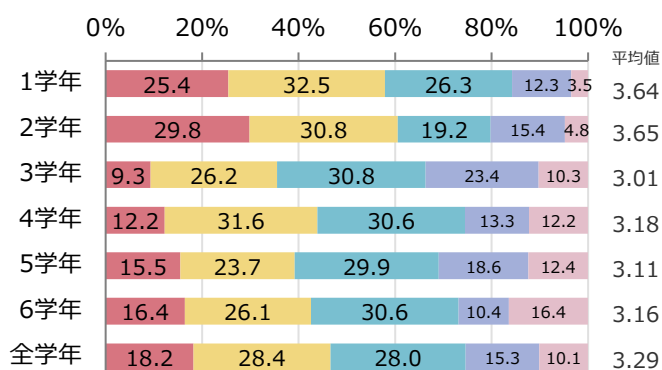
22.「大学生活・大学教育にどのくらい満足していますか。各項目に対する満足度を回答ください。」

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば不満足である ■ 不満足である

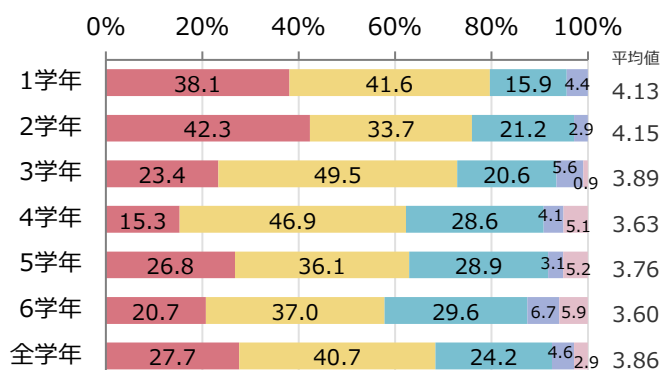
3) 授業・教育システム（教育内容やカリキュラムなど）



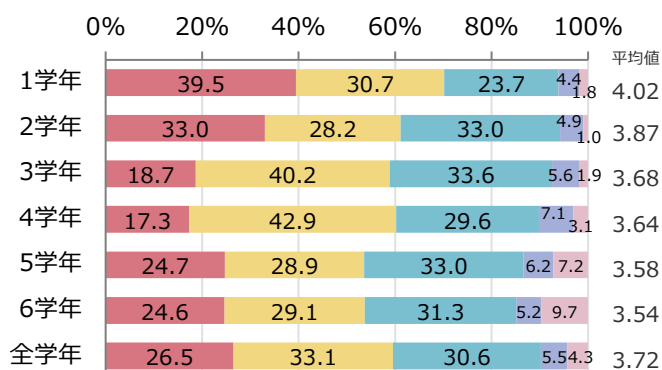
4) 試験（内容や実施時期など）



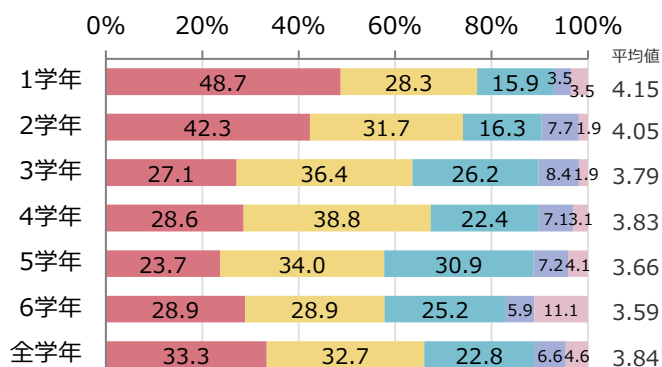
5) 教員（専門性の高さや良い影響を受けるなど）



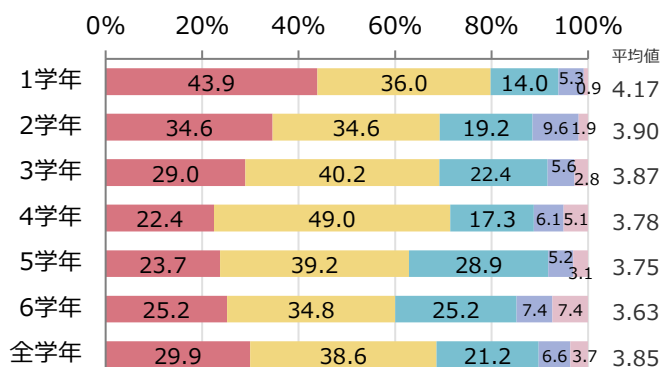
6) 相談・支援の体制



7) クラブ・サークル活動



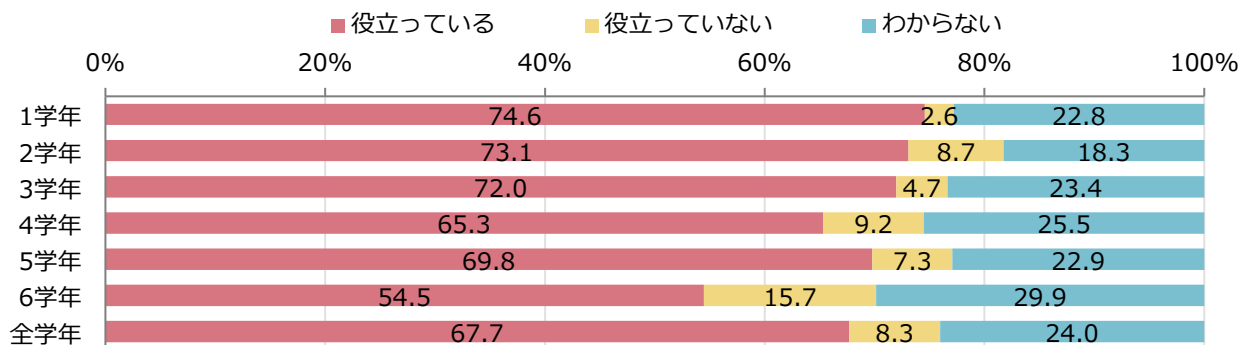
8) ICT学修環境（KMULAS、Teamsなど）



※グラフ右の「平均値」は、満足している=5～不満足である=1と得点換算をした時の満足度の平均値を示す。中点は3.

授業の有用性、DP達成度自己評価

23.「大学の授業は医師になる上で役立っていると思いますか。」

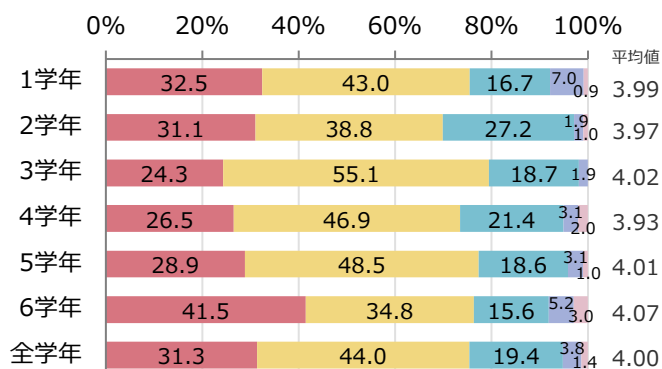


24.「関西医科大学では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。」

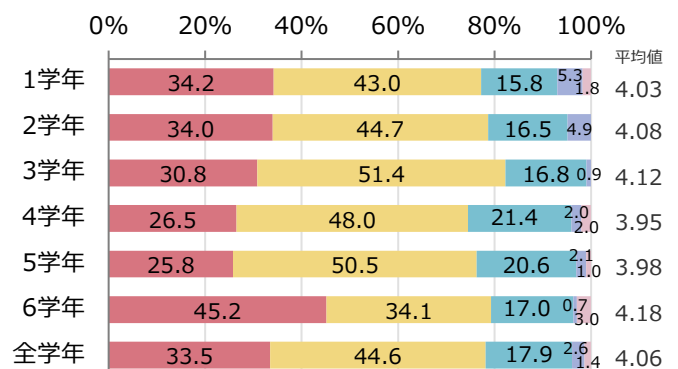
■ 達成できた ■ ある程度達成できた ■ どちらともいえない ■ あまり達成できていない ■ 達成できていない

※グラフ右の「平均値」は、達成できた=5 ～ 達成できていない=1 と得点換算をした時のDP達成度の平均値を示す。中点は3。

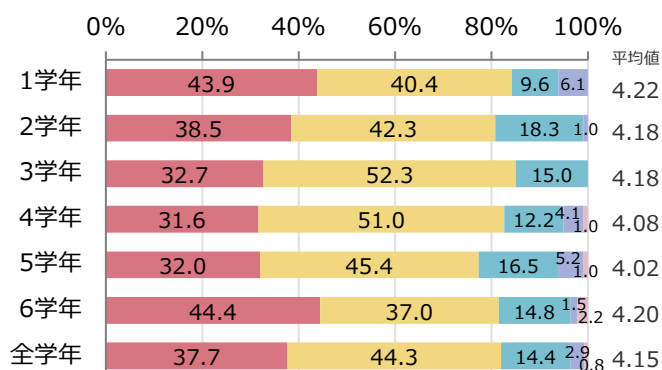
1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける



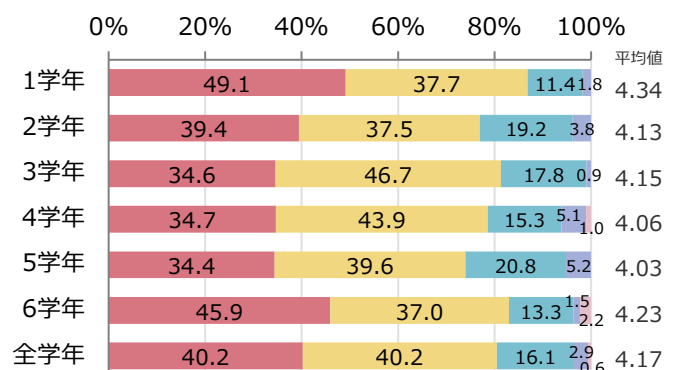
2) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる



3) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる



4) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる

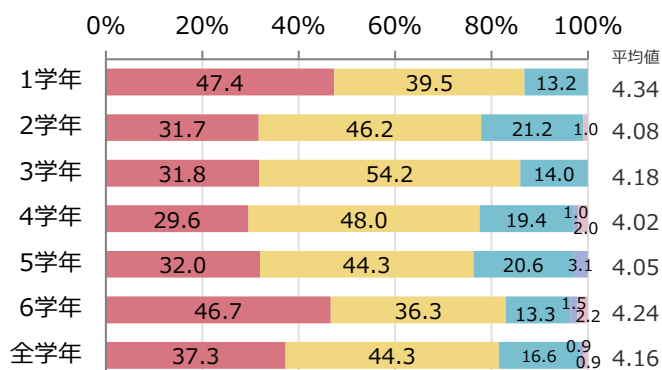


DP達成度自己評価

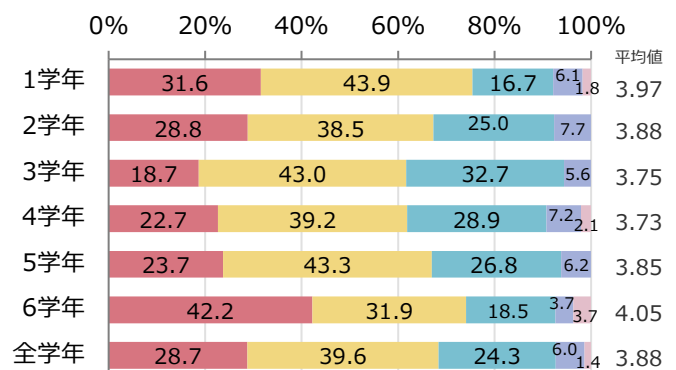
24.「関西医科大学では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。」

達成できた ある程度達成できた どちらともいえない あまり達成できていない 達成できていない

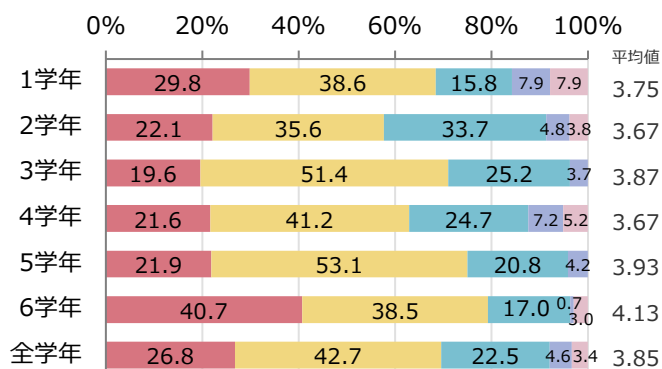
5) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける



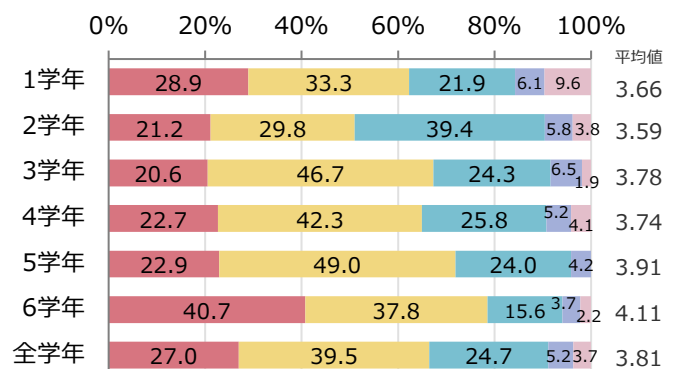
6) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する



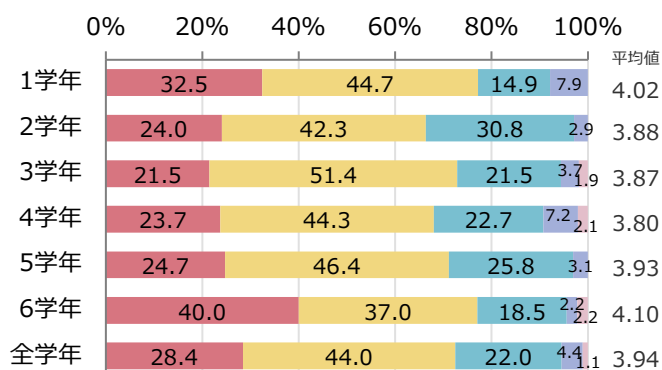
7) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる



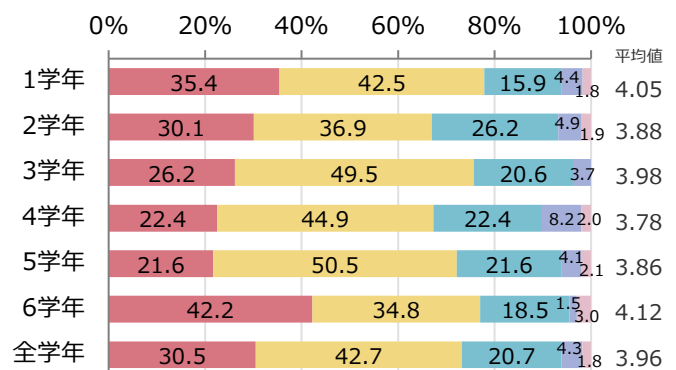
8) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する



9) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる



10) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける

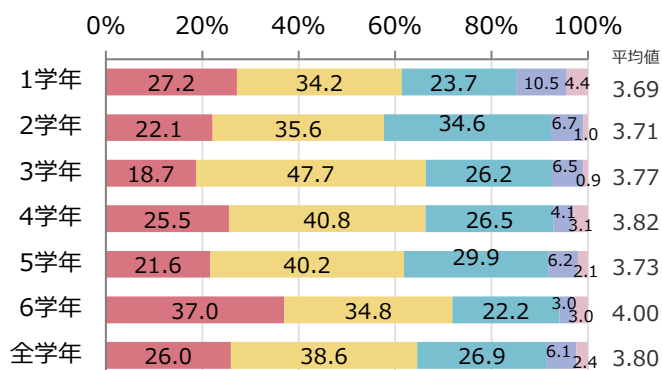


DP達成度自己評価、将来の目標

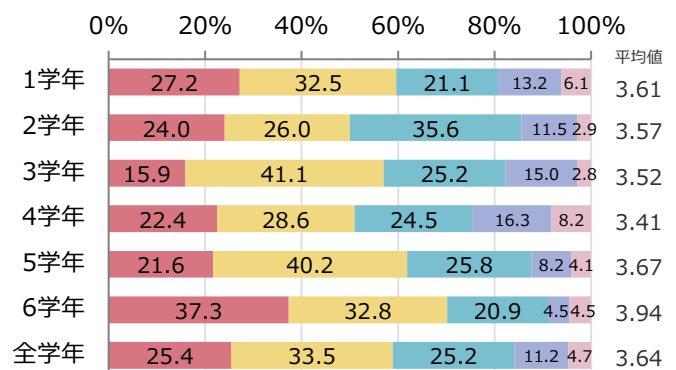
24.「関西医科大学では卒業までに達成すべき教育目標として以下の13項目を掲げています。大学入学時と比べて、あなたは以下の項目をどの程度達成できましたか。」

達成できた ある程度達成できた どちらともいえない あまり達成できていない 達成できていない

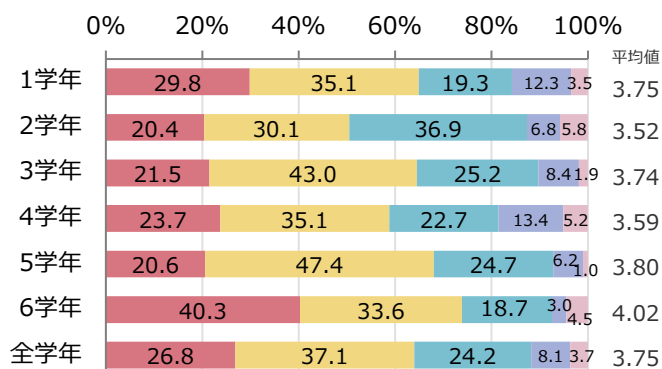
11) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる



12) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる



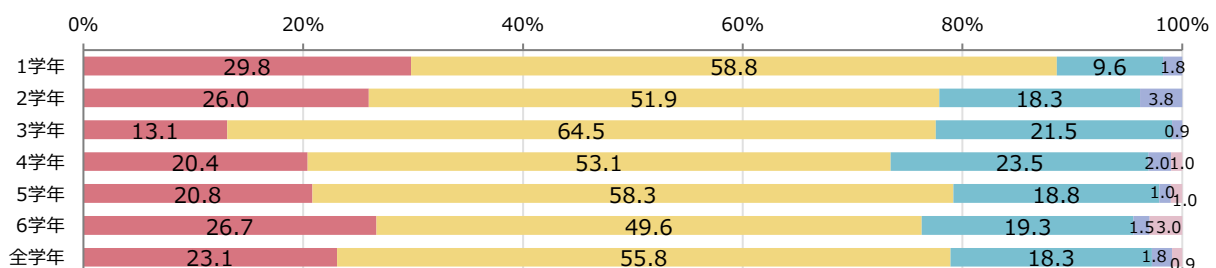
13) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる



ここからは大学卒業後の将来のキャリアや働き方についてお答えください。

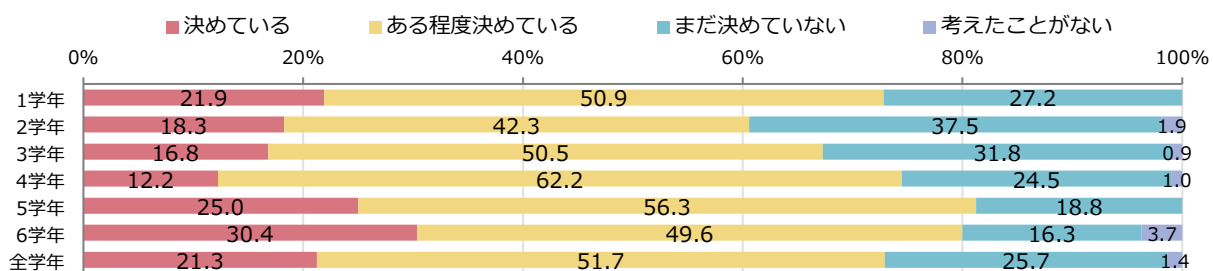
25.「医師・医学者としての将来の目標や展望を持っていますか。」

明確に持っている ある程度持っている あまり持っていない 全く持っていない 医師以外のキャリアを考えている

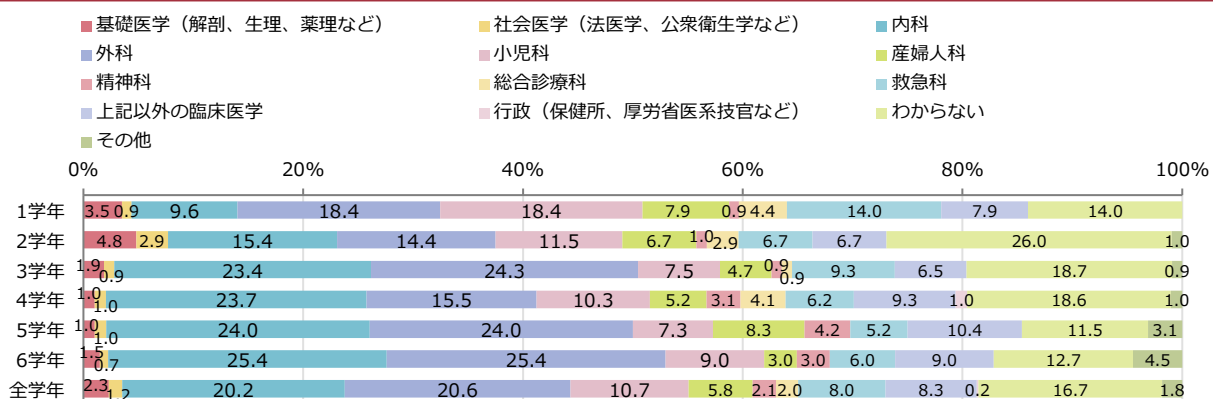


専門の決定、領域、選択基準、希望勤務地

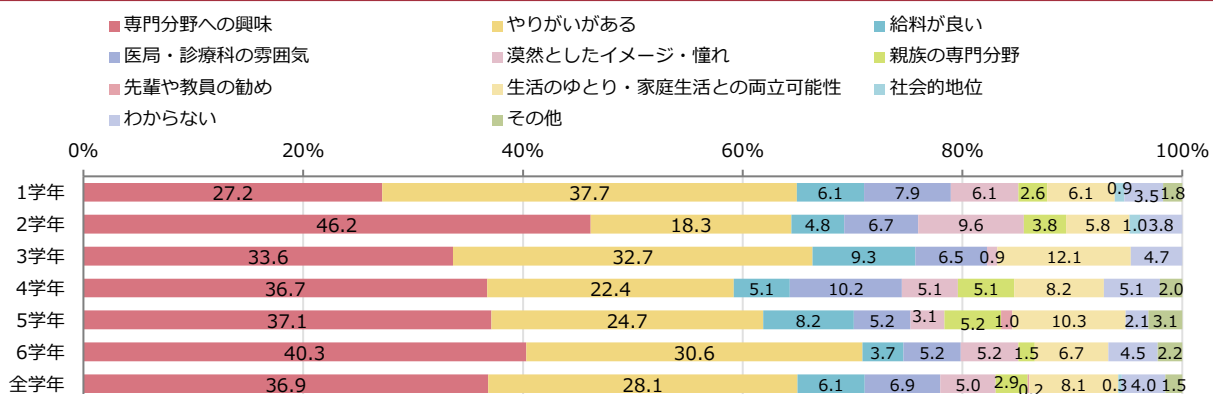
26.「将来専門にしたい領域・診療科は決まっていますか。」



27.「将来どの領域を専門にしたいと考えていますか。」



28.「将来専門とする領域や診療科を選ぶときに、どのようなことを重視しますか。以下の選択肢から最も重視するものを1つ選んでご回答ください。」



29.「将来希望する勤務地はありますか。」

